

岐阜大学の環境に関する取り組み

環境対策室

内容

環境対策室：岐阜大学は全学でISO14001を取得しています

■企業との環境連携事業

十六銀行との連携

エコがつながる種まきプロジェクト

朝顔の種を配布し、各家庭で栽培した種を返送してもらうことで来年の活動につなげていくものです。平成29年度に返送頂いた種を、平成30年度に岐阜市内の小学校などへ配布しました。

エコ活動啓発ポスターの募集

環境問題に対する意識の啓発に役立てることを目的に、教育学部附属小・中学校の児童、生徒に募集しました。



平成30年度エコポスター金賞作品から



FC岐阜との連携

岐阜う米プロジェクト

米ができる自然環境をより身近に感じ、環境保全について考えてもらうことを目的とし、田植えから収穫・販売までを岐阜大学とFC岐阜が協力して行う活動です。



第1弾
田植え体験
どろんこサッカー



第2弾
稲刈り体験



第3弾
贈呈

■学生の取り組み

エコ検定（環境社会検定試験）

→ 平成30年度9名が合格！

クリーンキャンパス

→ 毎年2回キャンパス内のゴミ拾いをします。

内部監査

→ 職員とともに本学の環境マネジメントシステムの監査を行っています。

緑のカーテン

→ 花の植え替えや緑のカーテンの設置などを行っています。



■持続可能な開発目標 SDG s



環境に配慮した活動を通じて、SDGs達成に向け取り組んでいます。

■環境に関する講義

本学では多数の環境に関する講義を開講しています。



「環境マネジメントと環境経営」グループディスカッションとメガソーラー発電施設見学の様子

地域資源を活用したモデル事業による省エネルギー推進と生物多様性の保全

I. 省エネルギー ～地域資源（地下水）を最大限活用～

地域資源を活用した省エネルギー設備導入

地下水熱利用ヒートポンプの導入

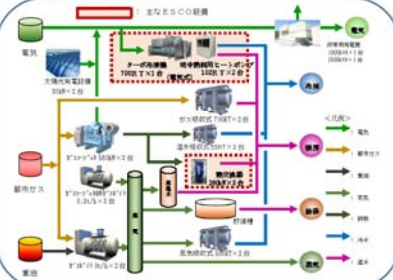
地中熱利用HPを導入し、年間冷温水のペ一ス運転を行うことで省エネ化

高効率ターボ冷凍機の導入

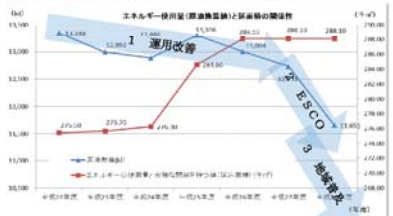
従来のガス熱源による冷水製造工程に電気式高効率ターボ冷凍機の導入



中央設備室熱源フロー図



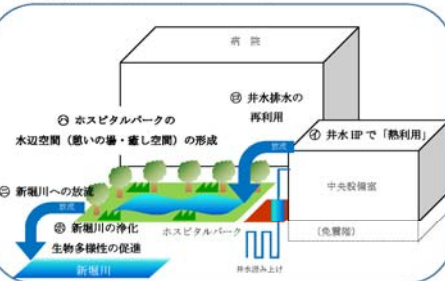
エネルギー使用量（原油換算値）と延面積の関係性



II. 生物多様性保全 ～好循環なホスピタルパーク～



地下水を利用したヒートポンプ（ホスピタルパーク）



地下水を利用したヒートポンプ（ホスピタルパーク）放流前、放流後



ヒートポンプで熱利用後の清浄な地下水をホスピタルパークに放流して生物多様性保全、緑化推進、癒しの空間創出に役立っている。



III. 産官学民連携 ～地域の低炭素社会の実現に向けて～

地域の低炭素社会の実現に向けての体系図



地域事業者への事業研修会（見学会）

